



2月7日 1855年2月7日にロシアと結んだ条約で、北方4島は日本の領土となり、この日を記念して昭和56年に「北方領土の日」が定められました。北方領土問題への関心と理解を深めるために市内各地区で街頭キャンペーンが行われました。ゆめタウン大竹前で啓発活動を行った自治連女性部の村田涼子女性部長は「市民の反応が高まってきたのを実感しました」。



2月13日 小瀬川流域で3月3日に行われる「ひな流し」。青少年育成市民会議の女性メンバーが集い、ひな人形を乗せる棧づくりを励んでいます。ひと握りのわらを型紙の上に縦横に置き、円形に編んでいきます。ベテランの山本京子さん(木野1)は、「丸くするのが難しい。わらの置き方で出来が決まります」と技の秘けつを一端を教えてくださいました。

## 市民卓球大会

問い合わせ 卓球協会事務局  
(伊藤宅 ☎02958 昼間は090-4653-7580)

とき 3月24日(日)  
9時30分(9時受付)

ところ 総合体育館  
対象 市内在住または勤務・通学の方、当協会に加盟登録している団体に所属している方

種目  
○混合ダブルス(年齢制限なし、女性同士および65歳以上の男性ペアの出場可)  
○中学生男子、中学生女子のダブルス・シングルス  
○小学生男子、小学生女子のシングルス  
※ 小・中学生の種目の出場者は、混合ダブルスには出場できません。

試合方法 予選リーグ後、順位別決勝トーナメント

参加料 一般(高校生以上) 1人300円  
小・中学生 1人200円

申し込み 3月14日(木)までに総合市民会館、大竹会館、玖波・栄の各公民館に備え付けの用紙で申し込んでください。



(上) 飛行性能の部、高学年、低学年で共に1位に輝いた木林沙羽さん(玖波小6)と、龍希くん(玖波小3)きょうだい。(右上) 高く上がるように富士山の絵を描いた長谷川恵佑くん(6歳)。(右中) 走りながらたこをコントロール。この後、転びました。(右下) 今年のえとイノシシ。「猪突猛進」のようにまっすぐ上がったかな。

2/10



FB 高く高くもっしょと高く

晴海臨海公園

青空が広がる中、「手づくりたこあげ大会」が開催され、事前の「たこづくり教室」などで作ったオリジナルのたこを持った38人が参加しました。小学生に交って就学前の子どもたちも親子でチャレンジ。いつしかお父さんのほつが一生懸命になっているようです。低空では海風にあおられ苦戦しますが、いったん高く上げれば悠々とした姿を見せられます。規定時間内で安定した飛行を競う部門で、低学年、高学年、それぞれ上位3人が表彰されました。

たこあげの後には、ほくほくの焼き芋。



2/10

## 会場が一体に

アゼリアホール

「大竹市民吹奏楽クラブ」が、10回目となる定期演奏会を機に、「おおたけ吹奏楽団」に改名。「バレンタインコンサート」で、新たなスタートを切りました。

満場の観客を前に、勇壮なマーチで幕を開けたコンサート。第2部の二階堂和美さんとの共演に続く第3部では、大竹高校、大竹中、小方中の吹奏楽部との混合編成で、一段と迫力を増し、エンディングの星野源さんのヒット曲「アイデア」に、惜しみない拍手が送られました。

大竹中吹奏楽部の部長、豊島未桜さん(2年)は、「会場が一体となり盛り上がった」と感激のようすでした。



(左) 松前こゆめさん(小方中2)は「新たな目標」と書きました。今年の目標は「勉強を頑張る」です。下「ゆめ」と書いた田中爽心郎くん(大竹小2)の将来の夢は「お父さんと同じ会社で働きたい」。

1/20



硬筆の部では、静かな部屋に鉛筆の音だけが響きます。

前日の雪模様からうつって変わった青空。「おおたけカキ水産まつり」が催され、およそ1万7500人の来場者でにぎわいました。カキの販売や「あたたかハマチtoレモン」の試食には、開会前から長蛇の列。ハマチの試食に一番乗りした防府市の属恵子さん、高橋順子さん姉妹は「毎年、カキのイベントをエックしています。大竹にはプラウン監督がゲストで来たところから来ている」と恒例行事のようです。特設ステージでは、バンド演奏、演歌、神楽などが演じられ、カーブ選手のトークショーには、遠方から駆け付けたファンもいます。ビンゴゲームでは、カーブ観戦チケットなどの争奪戦が繰り広げられ、イベントは紅白もちままで締めくくられました。

(右) カキを焼く男たち。「熱男！」(中) プリプリのカキを頬張ります。(左) 初めて食べたハマチtoレモンに「おいしい」と広島市安佐南区の結絢ちゃん。



(右) 次の数字は？ビンゴになったかな。



(上) 防府市の属さん、ハマチtoレモンの味見中。(左) 東広島市から来た女性。高橋樹也選手とカメラに収まり感謝でうるうる。

## FB ひと筆ごとに心を込めて

ギャラリーおおたけ ほか

小学生から高校生まで、毛筆、硬筆合わせて144人が「新春児童生徒書き初め大会」に参加。

毛筆の部の小学4年生以上は、文字の表情が生きる大竹産の手すき和紙を使います。思い描いた文字になるよう、一画一画筆先に心を託す子どもたち。何枚も書いては出来栄を見比べます。

作品は2月18日から24日まで、ゆめタウン大竹で展示されました。



※ (FB)の文字があるものは、市の公式フェイスブックにも掲載しています。

## FB まつりは盛況、カキ日和

晴海臨海公園

1/27

「カキは苦手ですがカーブ選手目当てです」と言いつつフレッチェと自撮り。

